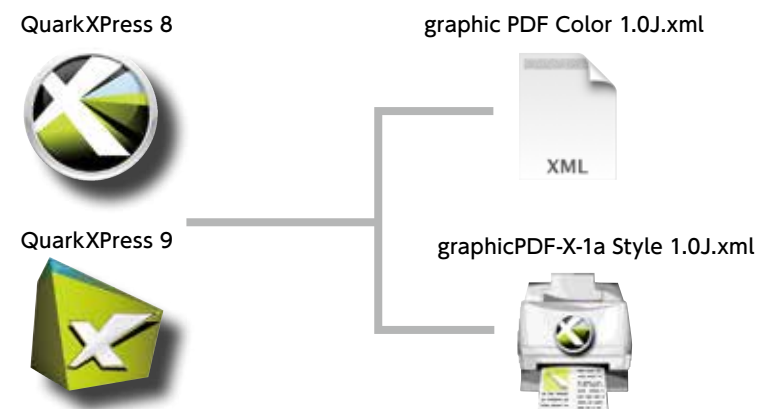
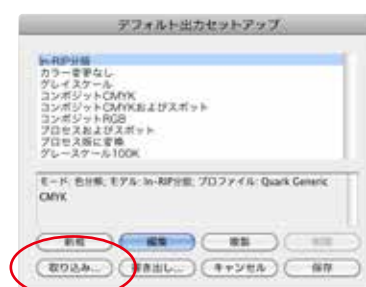


QuarkXPress 8/9 ではカラーのセットアップと出力スタイルを設定することにより書き出し作業の効率化が図れます。当社の印刷に適した設定を「graphic PDF Color 1.0J.xml」「graphicPDF-X-1a Style 1.0J.xml」として提供しています。

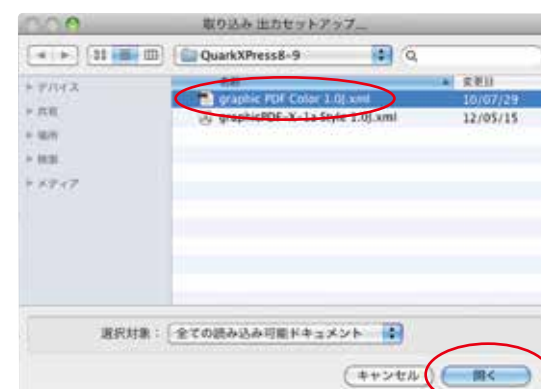
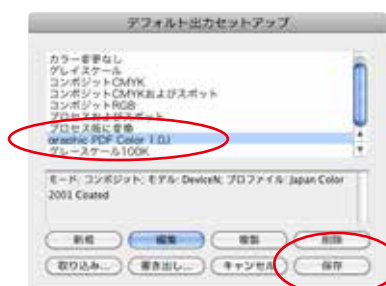


Check Point
出力スタイルにカラー設定が紐づいています。手順に沿ってカラーのセットアップの後に出力スタイルの設定をしてください。

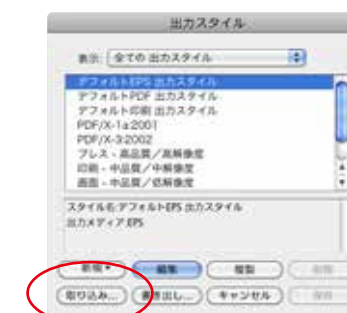
STEP 1 編集メニューのカラーのセットアップ、出力を選択します。
デフォルト出力セットアップが表示されますので、取り込みボタンをクリックします。



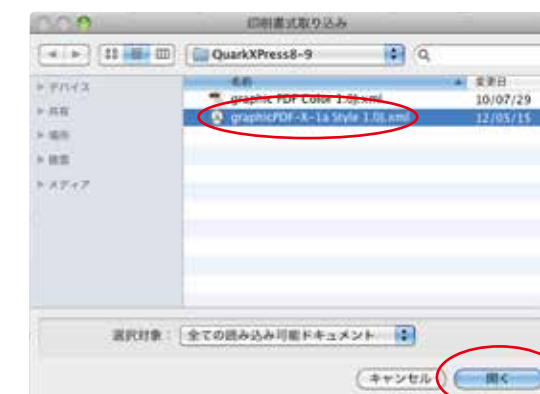
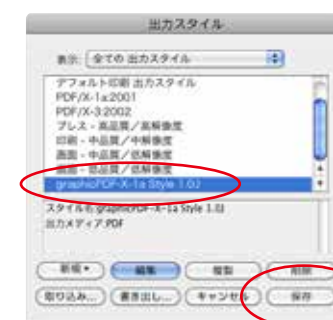
STEP 2 取り込み出力セットアップ画面で「graphic PDF Color 1.0J.xml」を選択して開くボタンをクリックします。
追加したカラーのセットアップ名を確認して保存します。



STEP 3 編集メニューの出力スタイルを選択します。
出力スタイルが表示されますので、取り込みボタンをクリックします。



STEP 4 印刷書式取り込み画面で「graphicPDF-X-1a Style 1.0J.xml」を選択して開くボタンをクリックします。
追加した出力スタイル名を確認して保存します。



STEP 5 この設定により QuarkXpress8/9 からの PDF 書き出し時に「graphicPDF-X-1a Style 1.0J」が選択できるようになります。

Check Point
一度、出力スタイルを設定すると削除するまでは再設定をする必要はありません。また、設定内容は QuarkXpress に取り込まれますので設定ファイルを同じ場所に置いておく必要はありません。

ここでは QuarkXpress 8/9 より PDF/X-1a 形式の PDF ファイルを作成するにあたり、新規ドキュメントを作成する際に必要な項目について記述します。また PDF 作成前のチェックについても触れます。

STEP 1

ここでは冊子印刷を例に新規ドキュメントを作成します。

●新規ドキュメントウィンドウ

- ① **レイアウト名** : レイアウト名を入力します。
- ② **レイアウトタイプ** : 冊子にする場合は必ずチェックします。
- ③ **サイズ** : 綴じたときの仕上がりサイズを入力します。
- ④ **方向** : 縦置きか横置きかを選択します。
- ⑤ **綴じ方** : 横組み (左綴じ) か縦組み (右綴じ) かを選択します。
- ⑥ **マージンガイド** : 必要に応じて天、地、内側、外側の数値を入力します。
- ⑦ **コラムガイド** : 必要に応じてコラム数とコラム間隔の数値を入力します。必要がなければデフォルトのままでもかまいません。

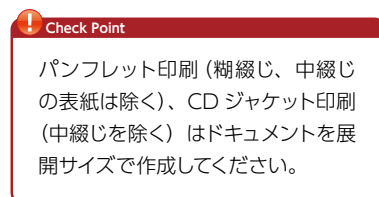
以上の入力を確認して OK ボタンをクリックします。



以上で新規プロジェクトのサイズに関する設定は終了です。

STEP 2

PDF ファイルを作成する前に補助メニューの使用状況で必要な要件が揃っているかをチェックします。いくつか項目がありますがフォントと画像について触れてみます。



STEP 2

前項の続き

●使用状況／フォント

ドキュメント上に使用されているフォントが揃っているかを確認します。



OK の例 ドキュメントに使用されているフォントが認識しています。

NG の例 赤枠で囲んだフォントが PC にインストールされていないため認識していません。

●使用状況／画像

ドキュメント上に使用されている画像が揃っているかを確認します。



OK の例 ドキュメント上に使用されている画像のリンクが有効になっています。

NG の例 赤枠で囲んだ画像のリンクが無効になっています。

STEP 3

以上を確認して OK ならばファイルメニューの出力ファイルの収集からデータをまとめて保存します。



これで PDF/X-1a を作成する条件が揃いました。

P36 へ

ここでは QuarkXPress 8/9 より PDF/X-1a 形式の PDF ファイルを作成する方法を記述します。

- STEP 1** ファイルメニューから書き出し、PDF を選択します。
PDF として書き出し画面が表示されますので、当社推奨の PDF/X-1a を書き出す『graphicPDF-X-1a Style 1.0J』を選択して、PDF ファイルの保存先を指定します。



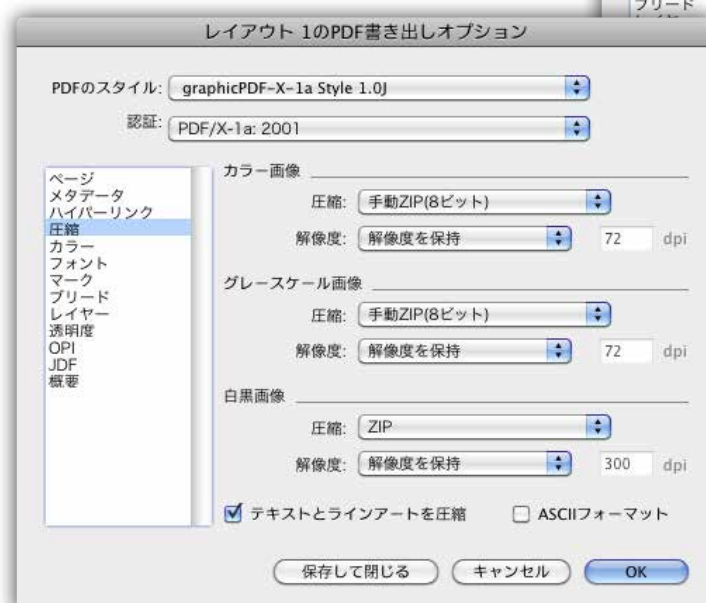
Check Point
PDF のスタイル『graphicPDF-X-1a Style 1.0J』では、当社指定のプリセットファイルを設定していただく必要があります。プリセットファイルの設定方法については、10、11 ページでご紹介します。



- STEP 2** PDF のスタイルオプションが以下の設定であることを確認して OK ボタンをクリックします。

1. ページ

PDF のスタイル : graphicPDF-X-1a Style 1.0J
認証 : PDF/X-1a:2001
スプレッド : チェックは入れません。



2. 圧縮

品質を重視するため、ダウンサンプルは行いません。

- STEP 2** 前項の続き

3. カラー

モード : コンポジット
設定 : graphic PDF Color 1.0J

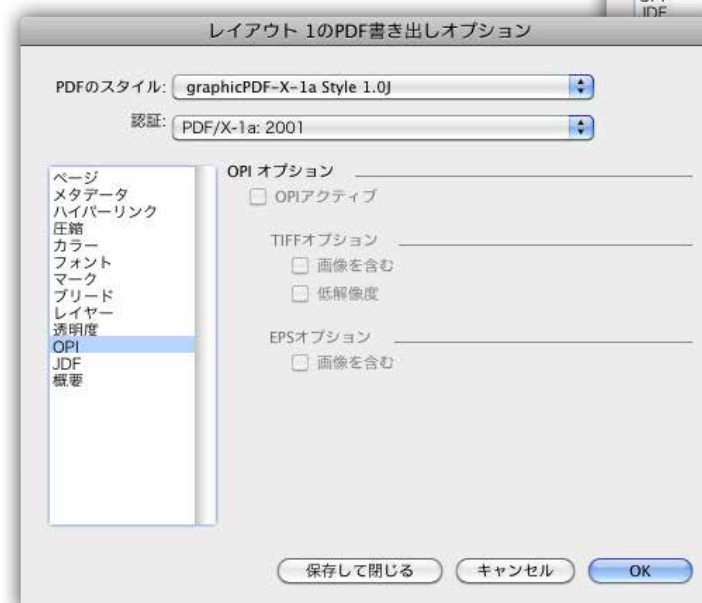


4. ブリード

ブリード : 天地左右いずれも 3mm

5. 透明度

QuarkXPress オブジェクト : 透明度を平滑化
ベクトル・ブレンド・ドロップシャドウ : 400dpi
取り込まれた PDF および AI ファイルの透明オブジェクト
平滑化解像度 : 任意の解像度



6.OPI

設定しません。

Check Point
メタデータ、ハイパーリンク、フォント、マーク、レイヤー、JDF の項目については出カスタイルで読み込んだ『graphicPDF-X-1a Style 1.0J』の設定を変更せずに PDF を書き出してください。

以上で PDF/X-1a 形式の PDF ファイルが作成されます。

プリフライトチェック!

P39 へ

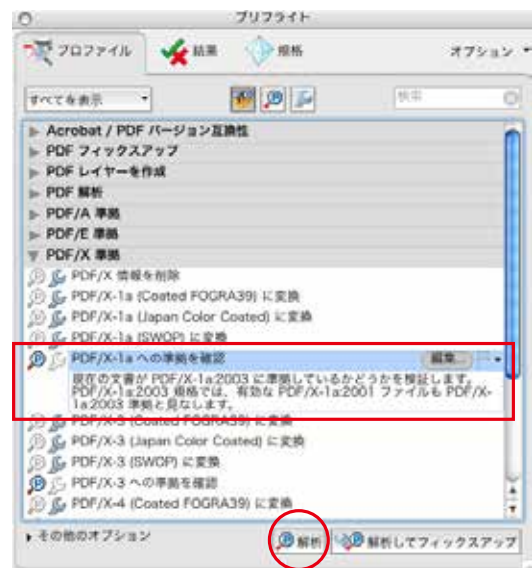
作成した PDF が、PDF/X-1a2001 に準拠しているかを Acrobat(7/8/9/X/XI) Professional で確認ができます (Illustrator CS で作成した PDF を除く)。

STEP 1 検証するファイルを Acrobat Professional で開き、アドバンスメニュー (Acrobat X/XI はツールの印刷工程) から「プリフライト」を選択します。プリフライト画面が表示されますので、「PDF/X-1a への準拠を確認」を選択し解析します。

Acrobat 7/8/9



Acrobat X/XI



STEP 2 解析が終了後、結果が表示されます。結果がエラーとなった場合、「スナップビューで表示」にて、いずれかの問題箇所をクリックすると、その部分を別ウィンドウで表示させることができます。

OK



NG



Check Point

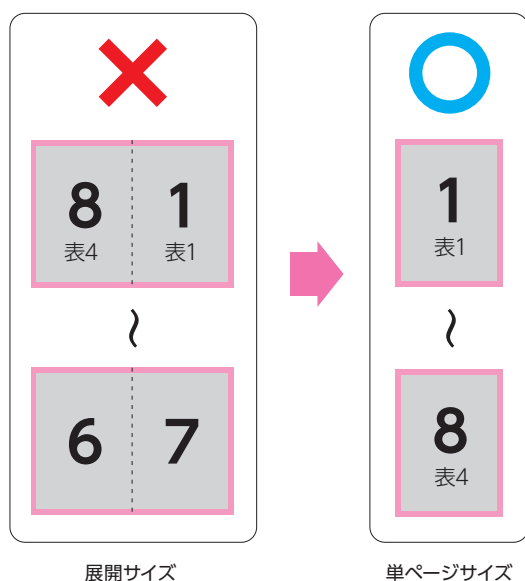
「PDF/X-1a への準拠を確認」では、塗り足しや特色の有無、画像解像度は確認できません。データ作成時にご注意ください。

冊子、折パンフレット印刷時のPDFについて

冊子印刷は見開きではなくページ単位でPDFを作成してください。折パンフレット印刷（糊綴じ、中綴じの表紙は除く）、CDジャケット印刷（中綴じを除く）は展開サイズで作成してください。

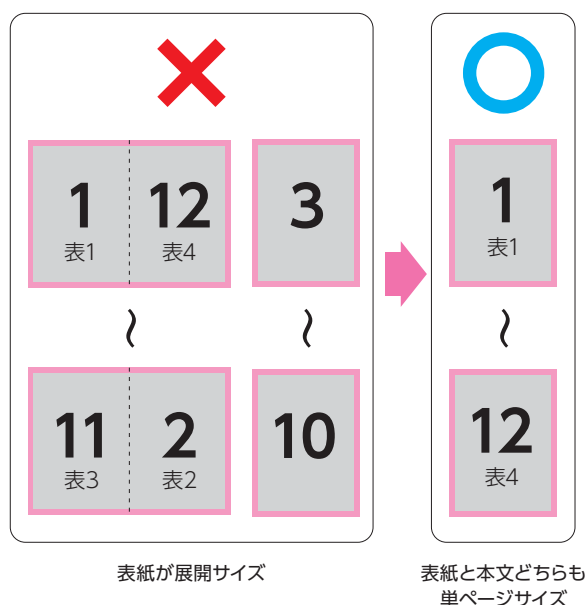
【中綴じ冊子印刷（8P・左綴じ）の場合】

中綴じ冊子印刷は見開きではなくページ単位でPDFを作成してください。



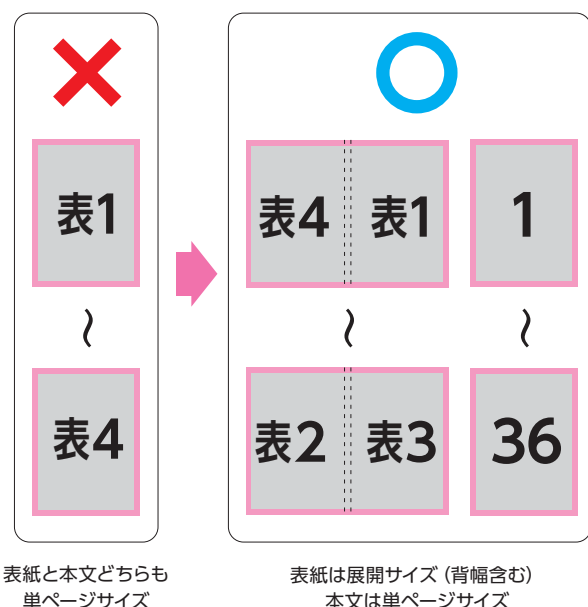
【中綴じ冊子印刷（12P・右綴じ・表紙別紙）の場合】

中綴じ冊子印刷の表紙別紙は中綴じ冊子印刷（本文）+パンフレット印刷（表紙）でご注文をいただきますが、PDFを作成される場合は表紙、本文ともにページ単位で作成してください。



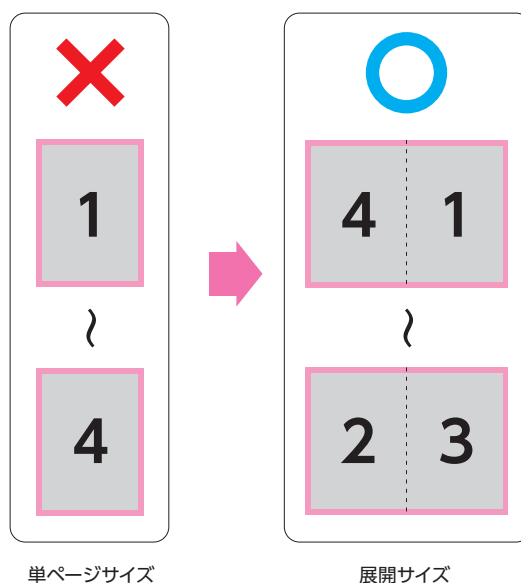
【本文：36P無線綴じ冊子印刷（36P・左綴じ） +表紙：カード印刷の場合】

無線綴じ冊子印刷の本文は単ページサイズ、表紙は背幅も含めた展開サイズでPDFを作成してください。



【折パンフレット印刷（4P二つ折・左開き）の場合】

パンフレット印刷は単ページではなく展開サイズでPDFを作成してください。

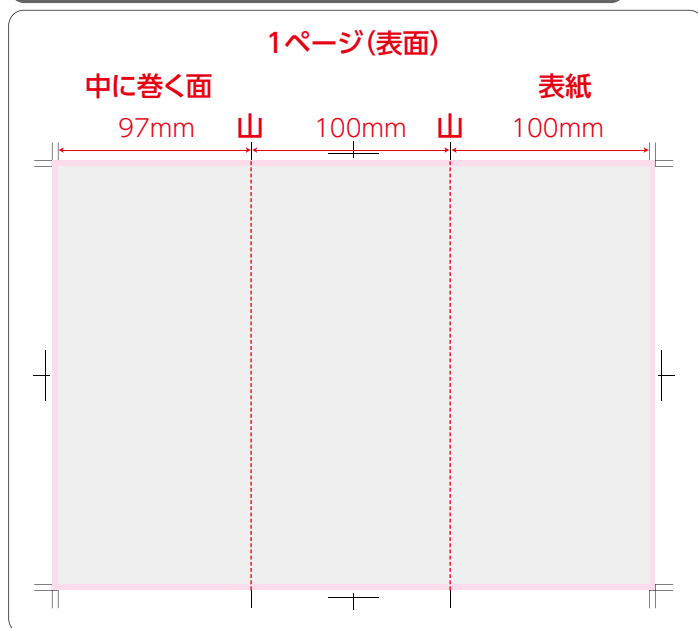


加工指示書、表裏の付け合わせについて

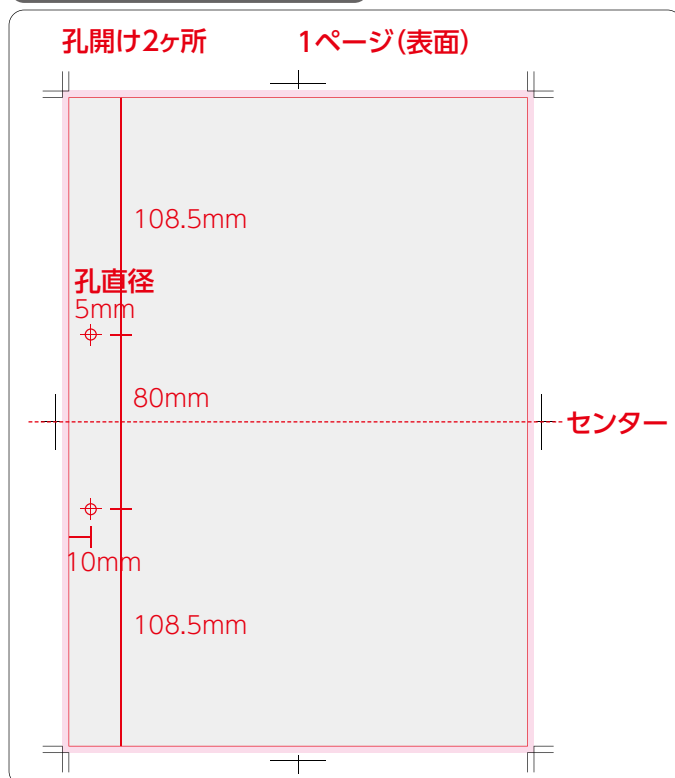
PDFをWEB入稿する際は、別ファイルにて加工指示書を添付していただく必要があります。

加工指示書は以下の例をもとに作成してください。表裏の付け合わせにご指示がある場合は「天」「地」をご記載ください。ご指示がない場合は右図「表裏の付け合わせ」となります。

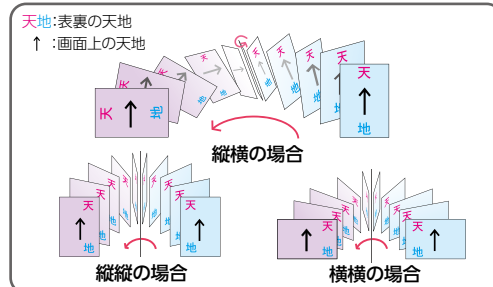
折り加工 A4フライヤー・巻三つ折りの場合



孔開け加工 2カ所の場合



表裏の付け合わせ



ページ(ファイル名)

指示の起点となるPDFファイル上のページをご指示ください。表裏別ファイルで作成された場合はファイル名に「表面」、「裏面」を付加してください。

折トンボ

折り位置を折トンボにてご指示ください。

表紙位置等

加工後の表紙面、中に巻かれる面をご指示ください。外三つ折など均等ピッチの場合でも「表紙面」をご記入ください。

折幅(ピッチ)

折幅を数値にてご指示ください。

折り方向

折の方向を「山」、「谷」でご指示ください。

ページ(ファイル名)

指示の起点となるPDFファイル上のページをご指示ください。表裏別ファイルで作成された場合はファイル名に「表面」、「裏面」を付加してください。

加工数

孔開け加工が何ヶ所かご指示ください。

孔の直径

当社が対応している孔の直径をご指示ください。

孔位置

十字や○などで加工位置をご指示ください。数値は仕上がりから孔のセンターまでの距離、2カ所であれば、孔のセンターからもう一方の孔のセンターまでの距離をご記載ください。

※加工指示は、印刷データとは別ファイル (Illustrator や画像など) にて作成してください。印刷データに加工指示があった場合、そのまま印刷されますのでご注意ください。



印刷データ



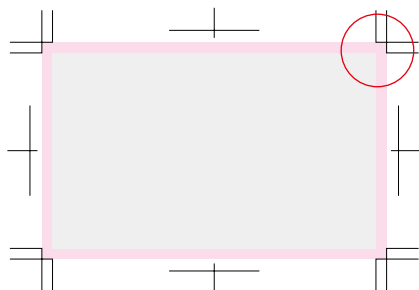
加工指示書

入稿前の必須チェック項目

前項からの続き

角丸加工 角丸半径3mm 1ヶ所の場合

角丸半径3mm 1ヶ所 1ページ(表面)



ページ(ファイル名)

指示の起点となるPDFファイル上のページをご指示ください。表裏別ファイルで作成された場合はファイル名に「表面」、「裏面」を付加してください。

加工数

角丸加工が何カ所かご指示ください。

加工位置

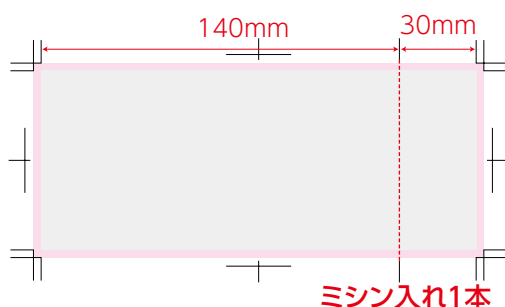
角丸位置を○にてご指示ください。

角丸半径

当社対応の角丸半径をご指示ください。

ミシン入れ加工 A5変型フライヤー 仕上がりサイズ:70×170(mm)の場合

1ページ(表面)



ページ(ファイル名)

指示の起点となるPDFファイル上のページをご指示ください。表裏別ファイルで作成された場合はファイル名に「表面」、「裏面」を付加してください。

加工数

ミシン入れ加工が何本かご指示ください。

加工位置

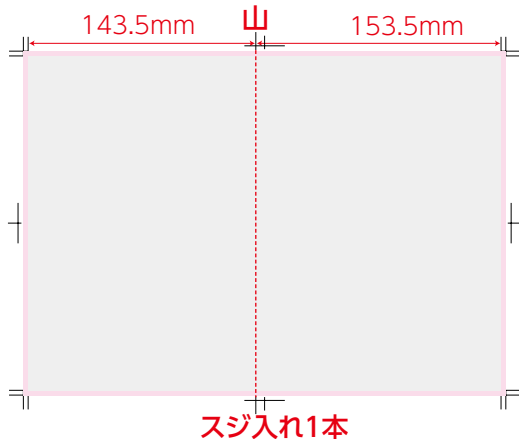
ミシン入れ加工位置をトンボにてご指示ください。

ピッチ

仕上がりから加工位置までの距離を数値にてご指示ください。

スジ入れ加工 例) A4変型カード 仕上がりサイズ:297×210(mm)の場合

1ページ(表面)



ページ(ファイル名)

指示の起点となるPDFファイル上のページをご指示ください。表裏別ファイルで作成された場合はファイル名に「表面」、「裏面」を付加してください。

加工箇所

スジ入れ加工が何本あるかご指示ください。

加工位置

スジ入れ加工位置をトンボにてご指示ください。

ピッチ

仕上がりから加工位置までの距離を数値にてご指示ください。

折り方向

スジ入れ加工には山折り、谷折りのご指示が必要です。折の方向を「山」、「谷」でご指示ください。

※スジ入れは「凹」側が山折り(表側)となります。

